

令和 8 年度 第 1 回愛媛県渋滞対策協議会

議事概要

1. 日 時：令和 8 年 7 月 2 9 日（水） 1 4：0 0～1 5：3 0
2. 場 所：松山河川国道事務所 2 F 第 1・第 2 会議室（W E B 併用）
3. 議 題
 - （1）これまでの経緯
 - （2）交通データによる最新の渋滞状況
 - （3）主要渋滞箇所の評価
 - （4）愛媛県内の TDM 施策の実施方針
 - （5）観光シーズンの経路誘導対策の実施方針と交通状況
 - （6）道路利用者会議からの要望に対する対応状況
 - （7）災害時の交通マネジメント
 - （8）対策の実施状況および今後の実施予定
4. 議事要旨
 - 「（3）主要渋滞箇所の評価」において、「天山交差点」の捌け台数の変化については、断面交通量だけではなく直進や右折といった方向別交通量の評価も実施すべきとの意見があった。
 - 西条市の「小川交差点」、「石川自動車板金塗装前交差点」、「県道 13 号・市道若洲東 3 号線交差点」の 3 箇所について、交通実態調査において捌け残りがほとんど確認されなかったことから解除候補箇所として提案したが、関係者不在のため次回の協議会で審議することとなった。
 - 「（4）愛媛県内の TDM 施策の実施方針」において、松山都市圏における TDM の実施期間を昨年同様 2 週間と設定していたが、1 ヶ月単位での実施とすることで、企業側の勤務時間管理や各種手当等の面で参加を検討しやすくなるといった意見があり、実施期間については 1 ヶ月での実施を基本として検討することとなった。
 - 「（8）対策の実施状況および今後の実施予定」において、信号現示調整は、主道路と従道路の青時間配分の見直しやサイクル長の短縮でも交通円滑化が図られる場合もあるという意見があり、愛媛県警察と道路管理者が連携し、信号現示調整の試行と ETC2.0 プローブデータ等を活用したデータ分析を重ね、さらなる改善に取り組んでいくこととなった。